

C-2 死因順位・死亡数、年次別・全国
(全国)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数
17 ('05)	悪性新生物	325,941	心疾患	173,125	脳血管疾患	132,847	肺炎	107,241	不慮の事故	39,863	自殺	30,553	老衰	26,360	腎不全	20,528	肝疾患	16,430	慢性閉塞性肺疾患	14,416
18 ('06)	悪性新生物	329,314	心疾患	173,024	脳血管疾患	128,268	肺炎	107,242	不慮の事故	38,720	自殺	29,921	老衰	27,764	腎不全	21,158	肝疾患	16,267	慢性閉塞性肺疾患	14,357
19 ('07)	悪性新生物	336,468	心疾患	175,539	脳血管疾患	127,041	肺炎	110,159	不慮の事故	37,966	自殺	30,827	老衰	30,734	腎不全	21,632	肝疾患	16,195	慢性閉塞性肺疾患	14,907
20 ('08)	悪性新生物	342,963	心疾患	181,928	脳血管疾患	127,023	肺炎	115,317	不慮の事故	38,153	老衰	35,975	自殺	30,229	腎不全	22,517	肝疾患	16,268	慢性閉塞性肺疾患	15,520
21 ('09)	悪性新生物	344,105	心疾患	180,745	脳血管疾患	122,350	肺炎	112,004	老衰	38,670	不慮の事故	37,756	自殺	30,707	腎不全	22,743	肝疾患	15,969	慢性閉塞性肺疾患	15,359
22 ('10)	悪性新生物	353,499	心疾患	189,360	脳血管疾患	123,461	肺炎	118,888	老衰	45,342	不慮の事故	40,732	自殺	29,544	腎不全	23,725	慢性閉塞性肺疾患	16,293	肝疾患	16,216
23 ('11)	悪性新生物	357,305	心疾患	194,926	肺炎	124,749	脳血管疾患	123,867	不慮の事故	59,416	老衰	52,242	自殺	28,896	腎不全	24,526	慢性閉塞性肺疾患	16,639	肝疾患	16,390
24 ('12)	悪性新生物	360,963	心疾患	198,836	肺炎	123,925	脳血管疾患	121,602	老衰	60,719	不慮の事故	41,031	自殺	26,433	腎不全	25,107	慢性閉塞性肺疾患	16,402	肝疾患	15,980
25 ('13)	悪性新生物	364,872	心疾患	196,723	肺炎	122,969	脳血管疾患	118,347	老衰	69,720	不慮の事故	39,574	自殺	26,063	腎不全	25,101	慢性閉塞性肺疾患	16,443	大動脈瘤及び解離	16,105
26 ('14)	悪性新生物	368,103	心疾患	196,925	肺炎	119,650	脳血管疾患	114,207	老衰	75,389	不慮の事故	39,029	腎不全	24,776	自殺	24,417	大動脈瘤及び解離	16,423	慢性閉塞性肺疾患	16,184
27 ('15)	悪性新生物	370,346	心疾患	196,113	肺炎	120,953	脳血管疾患	111,973	老衰	84,810	不慮の事故	38,306	腎不全	24,560	自殺	23,152	大動脈瘤及び解離	16,887	慢性閉塞性肺疾患	15,756
28 ('16)	悪性新生物	372,986	心疾患	198,006	肺炎	119,300	脳血管疾患	109,320	老衰	92,806	不慮の事故	38,306	腎不全	24,612	自殺	21,017	大動脈瘤及び解離	18,145	肝疾患	15,773
29 ('17)	悪性新生物	373,334	心疾患	204,837	脳血管疾患	109,880	老衰	101,396	肺炎	96,841	不慮の事故	40,329	誤嚥性肺炎	35,788	腎不全	25,134	自殺	20,465	血管性等の認知症	19,546
30 ('18)	悪性新生物	373,584	心疾患	208,221	老衰	109,605	脳血管疾患	108,186	肺炎	94,661	不慮の事故	41,238	誤嚥性肺炎	38,460	腎不全	26,081	血管性等の認知症	20,521	自殺	20,031
令和1年 ('19)	悪性新生物	376,425	心疾患	207,714	老衰	121,863	脳血管疾患	106,552	肺炎	95,518	誤嚥性肺炎	40,385	不慮の事故	39,184	腎不全	26,644	血管性等の認知症	21,394	アルツハイマー病	20,730
2年 ('20)	悪性新生物	378,385	心疾患	205,596	老衰	132,440	脳血管疾患	102,978	肺炎	78,450	誤嚥性肺炎	42,746	不慮の事故	38,133	腎不全	26,948	アルツハイマー病	20,852	血管性等の認知症	20,815
3年 ('21)	悪性新生物	381,505	心疾患	214,710	老衰	152,027	脳血管疾患	104,595	肺炎	73,194	誤嚥性肺炎	49,488	不慮の事故	38,355	腎不全	28,688	アルツハイマー病	22,960	血管性等の認知症	22,343
4年 ('22)	悪性新生物	385,797	心疾患	232,964	老衰	179,529	脳血管疾患	107,481	肺炎	74,013	誤嚥性肺炎	56,069	不慮の事故	43,420	腎不全	30,739	アルツハイマー病	24,860	血管性等の認知症	24,360

注)1) 平成7年からICD-10の死因分類が適用されているが、平成6年以前ICD-9の死因順位の選び方の分類をそのまま用いている。
ICD-9をICD-10に対応させる名称は下記のとおりである。
「肺炎及び気管支炎」→「肺炎」(分類変更)、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝疾患」(分類変更)、「腎炎、ネフローゼ」症候群及びネフローゼ」→「腎不全」(分類変更)
2) 平成6年以前の死亡数は旧分類によるものである。
3) 平成6年までの死因名は次のように略称した。
「精神病の記載のない老衰」→「老衰」、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝硬変」、「腎炎、ネフローゼ」症候群及びネフローゼ」→「腎炎等」
「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」→「新生児固有の疾患」
4) 昭和54年から平成6年までの死因名は次のように略称した。
「不慮の事故及び有害作用」→「不慮の事故」
5) ICD-10の一部改正に伴う、平成18年からの名称変更は下記のとおりである。
「血管性及び詳細不明の痴呆」→「血管性及び詳細不明の認知症」、「尿路性器系の疾患」→「腎尿路生殖器系の疾患」、「その他の尿路性器系の疾患」→「その他の腎尿路生殖器系の疾患」
6) ICD-10の一部改正に伴う、分類名称の追加は下記のとおりである。
「特殊目的用コード」、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」

C-2 死因順位・死亡数・年次別・大阪府
(大阪府)

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位		第8位		第9位		第10位	
	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数
22 ('10)	悪性新生物	24,563	心疾患	12,315	肺炎	8,354	脳血管疾患	6,250	不慮の事故	2,242	自殺	2,096	老衰	1,688	腎不全	1,649	肝疾患	1,432	慢性閉塞性肺疾患	1,080
23 ('11)	悪性新生物	25,219	心疾患	12,494	肺炎	8,635	脳血管疾患	6,323	不慮の事故	2,354	老衰	1,988	自殺	1,954	腎不全	1,583	肝疾患	1,475	慢性閉塞性肺疾患	1,137
24 ('12)	悪性新生物	25,307	心疾患	13,097	肺炎	8,582	脳血管疾患	6,194	老衰	2,509	不慮の事故	2,311	自殺	1,877	腎不全	1,854	肝疾患	1,387	慢性閉塞性肺疾患	1,047
25 ('13)	悪性新生物	25,528	心疾患	13,053	肺炎	8,732	脳血管疾患	6,040	老衰	2,796	不慮の事故	2,289	腎不全	1,822	自殺	1,811	肝疾患	1,366	慢性閉塞性肺疾患	1,125
26 ('14)	悪性新生物	25,595	心疾患	12,734	肺炎	8,548	脳血管疾患	5,914	老衰	3,165	不慮の事故	2,250	腎不全	1,741	自殺	1,735	肝疾患	1,376	慢性閉塞性肺疾患	1,017
27 ('15)	悪性新生物	26,056	心疾患	12,909	肺炎	8,657	脳血管疾患	5,754	老衰	3,523	不慮の事故	2,265	腎不全	1,752	自殺	1,624	肝疾患	1,400	慢性閉塞性肺疾患	1,102
28 ('16)	悪性新生物	25,946	心疾患	13,260	肺炎	8,781	脳血管疾患	5,566	老衰	3,846	不慮の事故	2,243	腎不全	1,668	自殺	1,544	肝疾患	1,373	慢性閉塞性肺疾患	1,148
29 ('17)	悪性新生物	25,916	心疾患	14,133	肺炎	7,239	脳血管疾患	5,782	老衰	4,483	誤嚥性肺炎	2,742	不慮の事故	2,363	腎不全	1,769	肝疾患	1,542	自殺	1,443
30 ('18)	悪性新生物	25,793	心疾患	14,610	肺炎	7,393	脳血管疾患	5,665	老衰	5,019	誤嚥性肺炎	2,965	不慮の事故	2,510	腎不全	1,943	肝疾患	1,539	自殺	1,465
令和1年('19)	悪性新生物	26,438	心疾患	14,473	肺炎	7,447	脳血管疾患	5,692	老衰	5,621	誤嚥性肺炎	3,127	不慮の事故	2,331	腎不全	1,960	肝疾患	1,444	自殺/慢性閉塞性肺疾患	1,383
2年('20)	悪性新生物	26,728	心疾患	14,754	肺炎	6,311	老衰	6,240	脳血管疾患	5,437	誤嚥性肺炎	3,469	不慮の事故	2,342	腎不全	2,024	肝疾患	1,549	自殺	1,515
3年('21)	悪性新生物	26,681	心疾患	15,597	老衰	7,620	肺炎	5,781	脳血管疾患	5,652	誤嚥性肺炎	3,977	不慮の事故	2,339	腎不全	2,073	肝疾患	1,567	自殺	1,483
4年('22)	悪性新生物	26,901	心疾患	17,394	老衰	9,156	脳血管疾患	5,963	肺炎	5,912	誤嚥性肺炎	4,733	不慮の事故	2,730	腎不全	2,334	肝疾患	1,685	自殺	1,626

- 注)1)平成7年からICD-10の死因分類が適用されているが、平成6年以前ICD-9の死因順位の選び方の分類をそのまま用いている。
ICD-9をICD-10に対応させる名称は下記のとおりである。
「肺炎及び気管支炎」→「肺炎」(分類変更)、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝疾患」(分類変更)、「腎炎、ネフローゼ 症候群及びネフローゼ」→「腎不全」(分類変更)
2)平成6年以前の死亡数は旧分類によるものである。
3)平成6年までの死因名は次のように略称した。
「精神病の記載のない老衰」→「老衰」、「慢性肝疾患及び肝硬変」→「肝硬変」、「腎炎、ネフローゼ 症候群及びネフローゼ」→「腎炎等」
「その他の新生児固有の疾患及び性費不明の未熟児」→「新生児固有の疾患」
4)昭和54年から平成6年までの死因名は次のように略称した。
「不慮の事故及び有害作用」→「不慮の事故」
5)ICD-10の一部改正に伴う、平成18年からの名称変更は下記のとおりである。
「血管性及び詳細不明の痙攣」→「血管性及び詳細不明の認知症」、「尿路生殖器系の疾患」→「腎尿路生殖器系の疾患」、「その他の尿路生殖器系の疾患」→「その他の腎尿路生殖器系の疾患」
6)ICD-10の一部改正に伴う、分類名称の追加は下記のとおりである。
「特殊目的用コード」、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」